



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月2日

上場会社名 株式会社 サークルKサンクス 上場取引所 東・名  
 コード番号 3337 URL http://www.circleksunkus.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 元彦  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理財務本部長 (氏名)山口 利隆 (TEL) 03-6220-9005  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	39,566	△15.6	5,585	17.4	5,536	17.5	1,852	—
24年2月期第1四半期	46,886	△0.9	4,756	29.5	4,709	29.0	△1,733	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 1,828百万円(—%) 24年2月期第1四半期 △1,779百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	22 12	—
24年2月期第1四半期	△20 70	—

(参考) チェーン全店売上高

25年2月期第1四半期 237,143百万円(前年同四半期増減率0.6%)

24年2月期第1四半期 235,791百万円(前年同四半期増減率5.5%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	283,864	144,571	50.9
24年2月期	257,585	142,782	55.4

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 144,571百万円 24年2月期 142,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	20 00	—	0 00	20 00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期の配当予想については未定であります。

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,200	△13.6	13,170	△0.9	12,830	△2.5	5,780	79.4	69 01
通期	164,630	△12.3	22,500	2.5	21,500	0.8	10,200	8.8	121 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年2月期1Q	86,183,226株	24年2月期	86,183,226株
25年2月期1Q	2,454,607株	24年2月期	2,432,850株
25年2月期1Q	83,735,731株	24年2月期1Q	83,752,271株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

その他特記事項としては、チェーン全店売上高には、(株)ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーの売上高は含まれておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高 .....	10
(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要により一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題を背景とした世界経済の低迷や長引く円高など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の営業総収入は、加盟店からの収入は増加したものの、政策的に自営店の削減を進めた結果、自営店売上高が減少したことにより前年同期比15.6%減の395億6千6百万円となりました。営業利益については、自営店関連経費などの販売費及び一般管理費を削減したことから、前年同期比17.4%増の55億8千5百万円となり、経常利益は前年同期比17.5%増の55億3千6百万円となりました。また、四半期純利益は、減損損失などの特別損失を23億1千7百万円計上したものの、18億5千2百万円（前年同期は四半期純損失17億3千3百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、東北地域を中心とした被災地における既存店売上高前年比が高い伸び率を示しました。また、重点カテゴリーのカウンターフーズをはじめとしたファーストフードや惣菜などのいわゆる「中食」商品も好調を維持しました。しかしながら、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比（単体ベース）は1.0%減となりました。当社および連結エリアフランチャイザー6社を合わせたチェーン全店売上高については、既存店売上高前年比が前年同期を下回ったものの、店舗数純増によるチェーン規模の拡大により、前年同期比0.6%増の2,371億4千3百万円となりました。

また、商品の平均値入率（単体ベース）については、値入率の低いたばこやサービスの売上が前年同期を上回った一方で、ファーストフードや加工食品を中心に値入率が大幅に改善された結果、前年同期実績を0.19%上回る27.31%となりました。

<サークルKサンクス売上高前年比増減 月次推移>

(単位：%)

	3月	4月	5月	3ヶ月累計
既存店	△3.6	+2.9	△2.0	△1.0
全 店	△0.3	+5.4	+0.6	+1.8

※上記の数値は、連結子会社を除く単体ベースであります。

店舗運営面では、来店客数の増加を最大の課題に掲げ、個店の立地特性や日販レベルに応じた課題解決型店舗指導を徹底したほか、「立地タイプ別レイアウト」を引き続き推進し、マーケット特性に応じた品揃え・売場作りに注力しました。さらに、新たな店舗フォーマットとして、カウンターフーズを中心に品揃えを強化する「ファーストフード強化型」、青果・生鮮日配品・惣菜の品揃えを強化する「ミニスーパー型」の展開を進め、マーケットニーズに特化した売場改革に取り組みました。また、雑貨分類においては自動発注システムを活用し、品切れ・チャンスロス防止に努めました。

商品開発面では、多様化するお客様ニーズの変化に対応するため、消費の二極化に対応したプライベートブランド（PB）戦略を推進しました。グループシナジーを活かし、低価格と高品質を追求するユニークグループPB商品「Style ONE」を拡充する一方、当社オリジナルの高付加価値型PB商品も強化しました。また、伸長著しいカウンターフーズ分類では、平成24年8月末までの全店舗導入を目標に、「淹れたてコーヒー」をご提供するカウンターコーヒーの導入を進めました。

サービス開発面では、店舗内で快適にインターネットをご利用いただけるサービスとして、KDDI株式会社の提供する公衆無線LANサービス「auWi-Fi SPOT」の導入を開始しました。

また、サークルKおよびサンクス店舗等における当第1四半期連結会計期間末時点での「ゼロバンク」ATMの設置台数は2,558台、「バンクタイム」ATMについては1,889台となりました。

(商品別の売上状況については、10ページ「コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高」をご参照下さい)

店舗開発面では、「ミニ店舗」フォーマットによる出店を推進し、駅構内などの閉鎖商圏に対応した店舗作りを進めました。また、株式会社JALUXとの業務提携の一環として、羽田空港国内第1ターミナルビル到着ロビーにコラボ店舗を出店するなど、新たな立地・商圏への店舗網拡大に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間における出店数は81店舗となったほか、閉店数は48店舗となりました。また、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は5,581店舗となり、非連結のエリアフランチャイザーを含む当社グループの合計店舗数は6,208店舗となりました。

(期末店舗数の明細については、11ページ「コンビニエンスストア事業に係る店舗数」をご参照下さい)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて23.7%増加し、1,432億5千7百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物の減少や差入保証金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、1,406億7百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、2,838億6千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、預り金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて27.9%増加し、1,086億1千5百万円となりました。

固定負債は、リース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、306億7千7百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21.3%増加し、1,392億9千2百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、1,445億7千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月9日公表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,289	90,028
加盟店貸勘定	3,398	3,392
有価証券	15,008	19,010
たな卸資産	1,014	901
繰延税金資産	1,173	824
未収入金	8,974	11,111
その他	17,183	18,272
貸倒引当金	△250	△285
流動資産合計	115,791	143,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,196	38,881
工具、器具及び備品（純額）	3,606	3,460
土地	8,251	8,180
リース資産（純額）	26,378	27,755
その他（純額）	77	541
有形固定資産合計	78,510	78,820
無形固定資産		
ソフトウェア	5,208	4,807
ソフトウェア仮勘定	116	94
のれん	2,306	2,240
その他	3,553	3,498
無形固定資産合計	11,185	10,640
投資その他の資産		
投資有価証券	2,704	2,594
繰延税金資産	3,570	3,915
差入保証金	39,839	38,582
その他	6,749	6,758
貸倒引当金	△766	△704
投資その他の資産合計	52,098	51,146
固定資産合計	141,793	140,607
資産合計	257,585	283,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,245	37,762
加盟店借勘定	2,071	2,413
未払金	7,504	5,329
未払法人税等	3,198	1,536
預り金	28,692	52,756
賞与引当金	1,328	1,511
その他	6,865	7,306
流動負債合計	84,907	108,615
固定負債		
リース債務	11,869	12,717
繰延税金負債	82	74
退職給付引当金	129	137
資産除去債務	6,508	6,451
長期預り保証金	9,611	9,723
長期リース資産減損勘定	625	571
その他	1,068	1,001
固定負債合計	29,896	30,677
負債合計	114,803	139,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,090	36,090
利益剰余金	102,763	104,615
自己株式	△5,035	△5,073
株主資本合計	142,199	144,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582	558
その他の包括利益累計額合計	582	558
純資産合計	142,782	144,571
負債純資産合計	257,585	283,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	25,549	26,943
その他の営業収入	3,022	2,990
営業収入合計	28,571	29,933
売上高	18,314	9,632
営業総収入合計	46,886	39,566
売上原価	14,042	7,425
営業総利益	32,843	32,140
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	3,858	3,368
賞与引当金繰入額	620	687
退職給付引当金繰入額	209	233
賃借料	12,687	12,432
減価償却費	2,953	3,208
貸倒引当金繰入額	—	△43
その他	7,758	6,668
販売費及び一般管理費合計	28,086	26,555
営業利益	4,756	5,585
営業外収益		
受取利息	96	116
受取配当金	35	34
受取補償金	28	28
その他	48	41
営業外収益合計	209	220
営業外費用		
支払利息	83	95
解約損害金	167	102
貸倒引当金繰入額	—	64
その他	4	7
営業外費用合計	256	269
経常利益	4,709	5,536
特別利益		
固定資産売却益	76	17
投資有価証券売却益	—	42
貸倒引当金戻入額	34	—
段階取得に係る差益	258	—
その他	14	10
特別利益合計	384	70



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	38	85
減損損失	2,508	2,227
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,028	—
災害による損失	807	—
その他	14	4
<b>特別損失合計</b>	<b>7,397</b>	<b>2,317</b>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,302	3,288
法人税、住民税及び事業税	1,038	1,428
法人税等調整額	△1,607	8
法人税等合計	△569	1,436
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,733	1,852
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△1,733</b>	<b>1,852</b>

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,733	1,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△24
その他の包括利益合計	△46	△24
四半期包括利益	△1,779	1,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,779	1,828
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)および当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高

商品別	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)			前連結会計年度 (自平成23年3月1日 至平成24年2月29日)		
	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前期比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
〈㈱サークルKサンクス 他〉									
ファーストフード	34,820	16.2	99.8	36,940	16.8	106.1	150,199	16.8	103.8
生鮮食品	25,832	12.0	96.6	26,191	12.0	101.4	104,923	11.7	97.7
加工食品	59,139	27.4	98.5	58,783	26.8	99.4	241,517	26.9	98.9
食品小計	119,792	55.6	98.4	121,915	55.6	101.8	496,641	55.4	100.0
非食品	82,828	38.4	115.1	82,744	37.7	99.9	340,292	38.0	112.4
サービス	12,971	6.0	97.2	14,809	6.7	114.2	59,469	6.6	106.3
計	215,593	100.0	104.1	219,468	100.0	101.8	896,403	100.0	104.8
〈エリアフランチャイザー 他〉									
ファーストフード	3,060	15.2	116.3	2,803	15.9	91.6	13,078	15.7	120.0
生鮮食品	2,733	13.5	110.4	2,010	11.4	73.6	10,958	13.1	110.6
加工食品	5,736	28.4	111.6	4,588	25.9	80.0	23,443	28.1	111.6
食品小計	11,530	57.1	112.6	9,402	53.2	81.5	47,480	56.9	113.5
非食品	7,771	38.5	141.1	7,228	40.9	93.0	31,694	38.0	135.6
サービス	895	4.4	129.5	1,043	5.9	116.5	4,236	5.1	142.1
計	20,198	100.0	122.8	17,674	100.0	87.5	83,411	100.0	122.3
合計	235,791	—	105.5	237,143	—	100.6	979,815	—	106.1

(注) 1 数量は品目が多岐にわたり、表示することが困難かつ適切でないため記載を省略しております。

2 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。

なお、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度の商品別売上高には、前連結会計年度において連結の範囲から除外した㈱99イチバの除外時までの売上高を含めております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数

(単位：店)

地域別	チェーン全店店舗数			
	(平成23年5月31日現在)	(平成24年5月31日現在)	比較増減	(平成24年2月29日現在)
〈㈱サークルKサンクス〉				
北海道	191	190	△ 1	191
青森県	106	107	1	107
岩手県	90	91	1	91
秋田県	95	93	△ 2	93
宮城県	102	104	2	105
山形県	49	46	△ 3	46
福島県	20	19	△ 1	19
茨城県	51	53	2	54
群馬県	14	15	1	14
千葉県	133	130	△ 3	130
埼玉県	29	29	—	29
東京都	591	596	5	590
神奈川県	334	345	11	343
新潟県	98	100	2	99
富山県	67	73	6	72
石川県	110	116	6	115
福井県	43	44	1	43
長野県	132	137	5	136
岐阜県	260	268	8	264
静岡県	293	301	8	302
愛知県	969	1,007	38	1,000
三重県	225	234	9	231
滋賀県	46	48	2	47
京都府	109	109	—	108
大阪府	400	402	2	403
兵庫県	171	174	3	170
奈良県	46	47	1	46
和歌山県	21	22	1	22
岡山県	128	128	—	129
広島県	48	48	—	48
福岡県	24	41	17	37
計	4,995	5,117	122	5,084

(単位：店)

地域別	チェーン全店店舗数			
	(平成23年5月31日現在)	(平成24年5月31日現在)	比較増減	(平成24年2月29日現在)
<エリアフランチャイザー他>				
サークルケイ四国㈱	169	171	2	169
サンクス青森㈱	71	74	3	74
サンクス西埼玉㈱	90	95	5	95
サンクス東埼玉㈱	70	68	△ 2	68
サンクス東海㈱	118	122	4	120
サンクス京阪奈㈱	103	101	△ 2	101
サンクス西四国㈱	82	80	△ 2	80
㈱サンクスアンドアソシエイツ東四国	121	124	3	123
㈱サンクス・ホクリア	100	99	△ 1	99
㈱サンクスアンドアソシエイツ富山	66	—	△ 66	—
㈱サンクス北関東	46	48	2	48
南九州サンクス㈱	107	109	2	108
㈱シー・ヴィ・エス・バイエリア	127	—	△ 127	—
㈱99イチバ	61	—	△ 61	—
計	1,331	1,091	△ 240	1,085
サークルKサンクスグループ合計	6,326	6,208	△ 118	6,169

- (注) 1 ㈱サンクスアンドアソシエイツ富山とのエリアフランチャイズ契約は平成23年7月に終了しております。  
 2 ㈱シー・ヴィ・エス・バイエリアとのエリアフランチャイズ契約は平成24年2月に終了しております。  
 3 ㈱99イチバにつきましては、平成24年2月に当社保有の全株式を同社に譲渡したことに伴い、前連結会計年度において連結の範囲から除外しております。